

## SWV386/Psalm 19,2-7 (詩篇 19,2-7)

・全体で物語をなし、複合唱の交唱的な音楽自体が言葉を十分に修飾しているので、あまり感情云々は考えなくて良いでしょう。この中の「太陽」とは何の象徴なのか、考えてみてください。

**\*Die Himmel erzählen die Ehre Gottes,  
und die Feste verkündigt  
seiner Hände Werk.\***

**\*天は神の栄光を語り、  
大空は御手の業を告げる。\***

・Die Himmelの中ではHim-にアクセントがあることを意識してください。Himmelの直後とFesteの直後は少し区切ります。

**Ein Tag sagts dem andern,  
und eine Nacht tuts kund der andern.  
Es ist keine Sprache noch Rede,  
da man nicht ihre Stimme höre.  
Ihre Schnur gehet aus in alle Lande**

昼は次の昼へと伝え、  
夜は次の夜へと知らせる。  
そこには会話も言葉もなく、  
声も聞くことはできない。  
しかしその絆は全地に行き渡り、

・in alleはタイミング的にリエゾンも止むなし。

**und ihre Rede an der Welt Ende.**

その言葉は地の果てにまで届いた。  
神は太陽のために幕屋をそこに作られた。

**Er hat der Sonnen eine Hütten  
in derselben gemacht,**

・Sonnenの直後は少し区切ります。

**und dieselbige gehet heraus  
wie ein Bräutigam aus seiner Kammer  
und freuet sich wie ein Held  
zu laufen den Weg.**

太陽は花婿のように部屋から出て、  
勇士のように喜び、  
道を走る。

**Sie gehet auf an einem Ende des Himmels**

太陽は天の一方の果てから昇り、

・an einemはタイミング的にリエゾンも止むなし。

**und läuft um bis wieder  
an dasselbige Ende,**

もう一方の果てにまで行き巡る。

**und bleibt nichts fur ihrer Hitz verborgen.**

その熱を免れるものはなし。

**\*Die Himmel...\* (repeat)**

**\*天は...\* (繰り返し)**

**Ehre sei dem Vater und dem Sohn  
und auch dem Heiligen Geiste,  
wie es war im Anfang,  
jetzt und immerdar  
und von Ewigkeit zu Ewigkeit, Amen.**

父とその子とに栄光あれ、  
そして聖霊にも栄光あれ、  
初めにあったように、  
今もそして常に  
そして永遠に、アーメン  
(そうであるように)。

・「初めにあったように」の歌詞を受けて音楽も最初の部分が再現される手法は、J.S.バッハのMagnificat (BWV243)にも引き継がれています。